



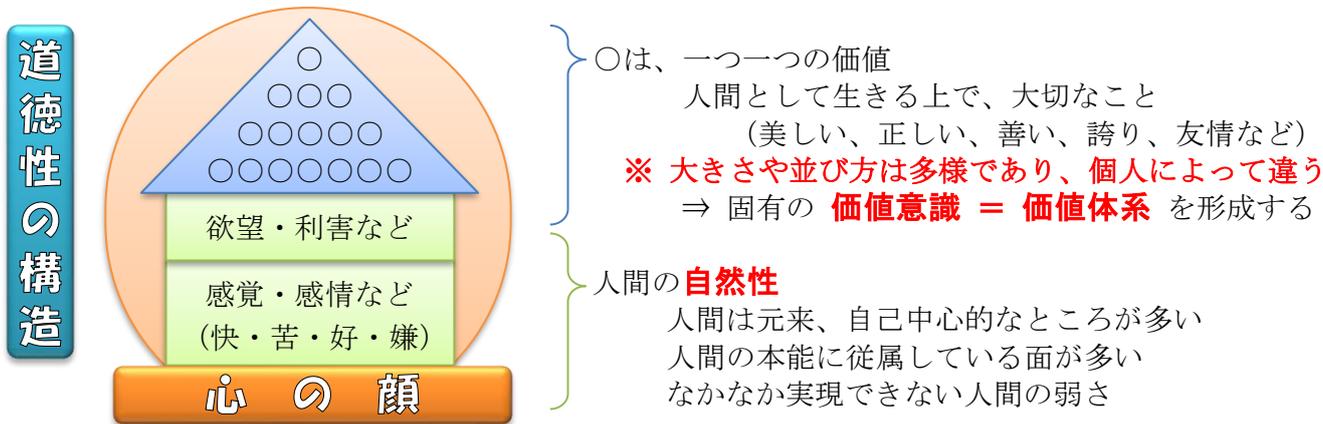
## よりよく生きるための基盤となる「道徳性」とは…

大成功だった運動会の成果を生かし、今、子供たちは次の目標に向けて全力で取り組んでいます。学校教育は、いわゆる「知」「徳」「体」の三本柱で成り立っています。本校の教育目標の根底も同様です。各教科等の学習を中心とする日常の学校生活とともに、学級活動や行事など、すべてが子供たちにとってかけがえのない学びの場であり、人間としての成長の場です。

「徳」の面では、すべての教育活動を通して子供たちの道徳性を育みます。道徳の授業は、その扇の要と位置付けられています。明日から始まる「ふれあい月間」でも、「心」を育てていきます。

## 一人一人の 固有の「心の顔」 道徳性

道徳性は、人の顔がそれぞれ違うように、一人一人固有のものです。一人一人の道徳性は、道徳的価値の自覚を深めることによって、深めることができます。特別の教科「道徳」の授業では、子供たちの発達段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人が、自分自身の問題として捉え向き合い、「考え、議論する」中で、固有の道徳性を形成する学習をしています。



道徳的価値の意識は、自覚された価値の集合体であって、その全体像は一人一人異なります。これを上の図で例えると、常に下段の人間の自然性を無視することなく、自覚しながら、上段の道徳的価値の自覚を深め、その集積によって道徳性を育てることが大切だと考えています。

## 道徳教育

自分自身に固有な行動や判断の基準となる道徳性を育てる

道徳的価値の自覚

道徳性

価値の自覚とは、**児童の心が価値を受け入れ、心に結びつくこと**

人間らしいよさであり、**道徳的諸価値が一人一人の内面において統合されたもの**

特別の教科「道徳」の授業を要として

道徳的諸価値について理解し、自己を見つめ、多面的・多角的に考える

一人一人が価値体系を形成し、人それぞれ独自のものとなる

一人一人固有の **心の顔** を築いていく

# 道徳科の特質

答えが一つではない道徳的な課題を、一人一人の児童が自分自身の問題として捉え、向き合う「考え・議論する道徳」への転換を図る。

## 道徳的諸価値の理解

道徳的価値とは、よりよく生きるために必要とされるものであり、人間としての在り方や生き方の礎となるもの。

### 価値理解 道徳的価値のよさ、素晴らしさ

人間としてよりよく生きる上で大切なことである。  
→「友情って大切だな」「仲良くすると本当に楽しいなあ。」

さくら学級  
1年生



### 人間理解 道徳的価値の実現の難しさ

大切であると分かっているにもかかわらず、なかなか実現することができない人間の弱さ、脆さ。  
→「友情が大切とは分かっているけど、みんなと仲良くするのは難しいなあ。」

### 他者理解 道徳的価値観の多様さ

道徳的価値を実現したり、できなかったりする場合の考え方、感じ方は多様である。  
→「友情についても、人によって考え方や感じ方はいろいろ違うのだから。」

## 自己を見つめる

これまでの自分の経験やそのときの考え方、感じ方と照らし合わせながら、更に考えを深める。

### 自己理解

自分とのかかわりで道徳的価値を捉え、自己理解を深める。  
→「今まで友だちと仲よくして、助け合っていたかなあ。」

## 多面的・多角的に考える

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うために、児童が多様な考え方や感じ方に接する。

### 対話的な議論

物事を一面的に捉えるのではなく、児童自らが道徳的価値の理解に基づき考え、様々な視点から物事を見つめて、主体的に話し合う。  
→「あの時、友だちはどうして手伝ってくれたのだろう。」

## 自己の生き方についての考えを深める

自己の生き方と照らし合わせて考える。

### 道徳的価値の主体的な自覚

道徳的価値を自分との関わりで深めたり、自分や他者の経験や感じ方・考え方と重ねながら、道徳的価値について自分の考えを発展させていく。  
→「自分の言葉が友達を傷つけているかもしれない。相手の立場に立って考えたいなあ。」

# 授業のポイント

## 授業のねらいの吟味

指導観（本時の主題）を明確にすることが最も重要です。  
～ 1時間の授業で期待する児童の姿 ～

### 価値観

ねらいとする道徳的価値について、学習指導要領に基づき、明確な考えをもつ。

### 児童観

ねらいとする道徳的価値について、児童の状況を捉え、育てたい子供像を明確にする。

### 教材観

ねらいとする道徳的価値がどのように含まれていて、活用するのかを明らかにする。

登場人物の判断や心情を自分との関わりで多面的・多角的に考えることを通して、自己の生き方について考えを深める。

発問構成の工夫

児童がどのように学び合うかを具体的に予想し、それが効果的になされるための授業全体の発問を構想する。

導入

道徳的価値に関する内容の提示

- 主題に関わる問題意識を喚起させる導入
  - … 事前アンケート → 授業後に比較できる
- 教材の内容に興味や関心を持たせる導入
  - … 掲示物の工夫や教師の発問

「ゆうすけの朝」  
3年生

自分たちの生活実態から、意見を出し合って考える。



展開

例1：教材の場面に即した発問構成

時系列的な発問構成

「ゆっきとやっち」低学年

自分との関わりで考える

「やっちから自慢されたとき、ゆっきはどんな気持ちだったでしょうか。」

心の葛藤を多面的に考える

「僕のことはいいから先に行けよ」と言われて、ゆっきは迷いながらどんなことを考えましたか。」

価値について理解を深める

「ゆっきとやっちはどんなことを思いながら飛んでいたのでしょうか。」

主人公の心情や考えを明らかにする発問

〔共感的〕

主人公の気持ちを問う

- ～はどんな気持ちだろう。
- ～はどんなことを考えているか。

〔分析的〕

その原因や理由を問う

- ～したのはなぜだろう。
- ～から何が分かるか。

主人公に自分を重ねる発問

自覚 〔投影的〕

主人公に自己投影して問う

- 自分が～ならばどう考えるか。
- (×自分だったらどうするか。)

主人公を客観的に見る発問

〔批判的〕 比較検討

物語や主人公の考えを問う

- ～のことをどう思うか。
- ～は本当にそうしてよいのか。

自分自身の気持ちや考えをもち、意識する発問

開

例2：問題解決的な発問構成

様々な問題や課題を主体的に解決するために必要な資質・能力を養う。

- ・～には、どんな意味があるのか。
- ・～が大切にしていることは何だろう。
- ・～はどんなことが問題なのか。

「あかいセミ」  
4年生

正直な心とは何か？問題提起から議論する。



例3：体験を通じた発問構成

体験的な行為や活動を通して、実感的に道徳的価値について考えを深める。

- ・役割演技：即興的に演技する。
- ・疑似体験：実際にはできない体験を…。
- ・追体験：道徳的行為を想起する。

「いのちの授業」  
6年生(R4)

ハートの紙に自分の名前を書いてクシャクシャに…。



終末

今後の発展につなぐ段階

※ 自分自身の変容に気付かせる。自律を促す。

- ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめる。… ワークシート
- 道徳的価値を実現することのよさや難しさなどを確認する。… 教師の説話

# <11月の行事予定>

※ 予定は変更になる場合がございます。  
 まちこみメール等でお伝えしますので、ご確認よろしくお願いたします。

日	曜	給食	朝	行事予定	授業時数					
					1年	2年	3年	4年	5年	6年
1	水	○	特	ふれあい月間(始) 研究授業(3-1)⑤	4	4	4	4	4	4
2	木	○	作	音楽会練習 遠足(1・2)多摩動物公園	5	5	6	6	6	6
3	金			文化の日 東京都教育の日						
4	土									
5	日									
6	月	○	安	クラブ活動 卒業アルバム撮影(6)クラブ活動	4	4	4	5	5	5
7	火	○	コ	音楽会練習	5	5	6	6	6	6
8	水	○	モ	校内研究授業会(さくら学級3年)⑤	4	4	4	4	4	4
9	木	○	作	小学校音楽会(6)⑤⑥	5	5	6	6	6	6
10	金	○	モ	寺子屋 漢字検定(申込者)	4	4	4	5	5	5
11	土			(昭和中学校公開 新入生保護者説明会(6))						
12	日									
13	月	○	長	(1・2年遠足予備日) リーディングテスト始	4	5	5	5	5	5
14	火	○	避	避難訓練	5	5	6	6	6	6
15	水	○	集	委員会活動	4	4	4	4	5	5
16	木	○	作	音楽会練習	5	5	6	6	6	6
17	金	○	モ	寺子屋	4	4	4	5	5	5
18	土									
19	日									
20	月	○	生	市教委訪問 5時間目授業 生活科見学(2)②③	5	5	5	5	5	5
21	火	○	コ	音楽会予行	5	5	6	6	6	6
22	水	○	モ	クラブ活動	4	4	4	5	5	5
23	木			勤労感謝の日						
24	金	○	モ	音楽会(児童鑑賞日) リーディングテスト終	4	4	4	5	5	5
25	土	×	特	音楽会(保護者鑑賞日)	4	4	4	4	4	4
26	日									
27	月			振替休業日						
28	火	○	コ	音楽会会場片付け(5) 個人面談(さ)始	5	5	6	6	6	6
29	水	○	集	委員会活動 体づくり週間始 6年・教職員卒業アルバム写真撮影	4	4	4	4	5	5
30	木	○	作	社会科見学(5) ふれあい月間(終)	5	5	6	6	6	6

(数字)は学年、丸数字は、授業時間を表しています。  
 例:(5)5年生 ③3時間目

下校時刻のめやす 4時間授業…13:30 5時間授業…14:40 6時間授業…15:35

## < 学校からのお知らせ >

11月の生活目標 「学習のきまりを守ろう」

11月の保健目標 「毎日ハンカチを持ってきましょう」

### 音楽会について

運動会から気持ちを切り替え、24日(金)、25日(土)の音楽会に向け、インフルエンザや新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めながら練習に取り組んでいます。

詳しくは、後日配布される手紙をご覧ください。

### グッドモーニング 60分と健康観察

9月に取り組んでいただいた「グッドモーニング 60分」ですが、継続できているでしょうか。登校までの60分前に起きることで、ゆっくり朝食を食べたり、読書を試みたり、しっかり排便ができたりと朝の余裕が生まれます。その中で、ぜひ朝の健康観察もじっくりしていただければと思います。

### ふれあい読み聞かせ

11月の「ふれあい月間」に合わせて、「ふれあい読み聞かせ」を実施します。

ご家庭で読み聞かせをすることを通して、さらに心と心とのつながりを育むことができるようにしていけたらと思います。

11月25日(土)までに、お子さんに読み聞かせをしてください。翌週から、学校で振り返りを行います。ご協力よろしくお願いいたします。

### 漢字検定について

10日(金)午後、漢字検定を実施します。事前にお申し込みをした児童が対象となります。

1~3年生は5時間目、4~6年生は6時間目に実施しますので、いつもより下校が遅くなりますのでご承知おきください。また、学童などにもご家庭からその旨お伝えいただきますようお願いいたします。

### リーディングテストについて

13日(月)から24日(金)の期間でリーディングテストを実施いたします。

取組については、学年ごとで調整して行う予定です。実施日等については時間割でご確認ください。よろしくお願いいたします。

## < 学年・さくら学級・専科からのお知らせ >

### 第1学年より **スマイル**

#### ☆1・2年生の合同遠足について

11月2日(木)、1・2年生で多摩動物公園へ遠足に行きます。お弁当のご用意をお願いします。詳細は、しおりをご覧ください。また、遠足の交通費として、310円を教材費から引き落としさせていただきます。ご了承ください。

#### ☆生活科「きせつとなかよし あき」の学習の材料について

どんぐりや落ち葉を使ったおもちゃづくりを行います。11月上旬におもちゃづくりの計画書を持ち帰ります。必要な材料(竹ひご・毛糸・つまようじ・わりばし・ひもなど)を持たせてください。11月6日(月)の週から、作り始める予定です。ご協力よろしくお願いします。

#### ☆算数科「かたちあそび」で使う箱や筒について

11月に算数科で「かたちあそび」の授業を行います。教科書2のP.72の「かたちあそび」の箱や筒を参考に用意ください。11月7日(火)に持たせてください。

### 第2学年より **ステップ**

#### ☆1・2年生の合同遠足について

11月2日(木)、1・2年生で多摩動物公園へ遠足に行きます。お弁当のご用意をお願いします。詳細は、しおりをご覧ください。また、遠足の交通費として、310円を教材費から引き落としさせていただきます。ご了承ください。

#### ☆算数科で使う三角定規について

算数の学習で、三角定規を使います。目盛りが見やすく、使いやすいものをご用意ください。11月10日(金)までに記名して持たせてください。

#### ☆国語科「おもちゃ作りの説明文」の学習の材料について

国語の学習で、おもちゃ作りの説明文の書き方の学習をしています。実際におもちゃを作るので、お子様と相談してお菓子等の空き箱を11月10日(金)ごろまで持たせてください。2・3箱あれば十分です。

また、3学期の生活科の学習でもおもちゃ作りをしますので、お菓子などの空き箱がありましたら、おうちで取っておいていただけると助かります。また、学習が近くなりましたら、お知らせいたします。

#### ☆生活科「えがおのひみつ、たんけんたい」の学習について

生活科「えがおのひみつ、たんけんたい」の学習を11月20日(月)に行います。当日はグループに分かれて徒歩で移動します。リュックで登校します。水筒・赤白帽子・うわばきを忘れずに持たせてください。給食は学校で食べますので、お弁当の必要はありません。

また、お忙しい中、保護者ボランティアにご協力いただき皆様、感謝申し上げます。詳細についてのお手紙を後日、お渡ししますのでご確認ください。どうぞよろしくお願いします。

#### ☆音楽会の衣装について

音楽会の衣装のご用意をよろしくお願いします。詳細は、先日配布した「音楽会衣装に関するお願い」のお便りをご覧ください。11月10日(金)までに記名して持たせてください。

### 第3学年より **チャレンジ!**

- 音楽会の衣装についてのお知らせを配布しました。ご確認ください、準備をよろしく願います。
- 11月6日(月)は、5校時に高学年クラブ活動がある為、3年生は4時間授業となります。予めご了承ください。
- 12月1日(金)に保護者会を予定しています。詳細は、後日お知らせ致します。
- 2学期も折り返しにきています。様々な行事が続く中で、子供たちの心の成長を感じ嬉しく思っています。友達との関わりや学習も、より活発になってきてました。頑張っている分、体や心が疲れてくる時期です。  
ご家庭で、ゆっくりと体を休める時間やスキンシップの時間をとっていただけると幸いです。学校の方でも、子供たちの気持ちを受け止めながら支援していきます。

### 第4学年より **ステップアップ ~ step up!! ~**

#### ○日めくりカレンダー作り

11月8日の総合の時間に、「日めくりカレンダー作り」の学習を行います。この日は、ゲストティーチャーとして、**芸術家の渡邊知樹さん**に来ていただきます。4年生では、今年度の総合のテーマを「いのち×暮らし」としています。

そこで今回は、その「暮らし」に寄り添うカレンダーを毎年作成していらっしゃる渡邊さんから、どうして「暮らし」をテーマにカレンダー作りをしているのか、どのような思いで活動されているのかなどのお話を伺います。

そして、学んだことをもとに実際にカレンダーを作り、表現の手法を増やしていけたらと思います。児童がどんな作品を作るのか、楽しみにしていただけたらと思います。

#### ○音楽会の衣装

音楽会の衣装についてのお知らせを配布しました。ご確認ください。

### 第5学年より **High Five!**

#### ◇ゲストティーチャー授業

総合の学習の一環として、11月6日(月) コーヒー焙煎士の益岡悠介さんに特別授業をしていただきます。

コーヒー栽培についてのお話を通して、自然や環境への理解を深めます。

#### ◇オンライン社会科見学

11月30日(木)にトヨタ自動車九州工場と「ZOOM」でつないで、オンライン社会科見学をします。

オンラインではありますが、最先端の車の製造について学びます。

#### ◇音楽会の衣装

音楽会の衣装についてのお知らせを配布しました。ご確認ください。

## 第6学年より

## 考 動

### \* 卒業について

卒業関連の書類作成のための調査を1日（水）に配布します。  
6日（月）までにご提出ください。

### \* 昭和中新入学説明会について

11日（土）保護者対象の説明会が行われます。詳細は、配布済みの案内をご確認ください。（お問い合わせは、直接昭和中学校へお願いします。）

### \* 連合音楽会について

9日（木）、市民会館 FOSTER ホールに市内の6年生が集まり、連合音楽会が行われます。本校は、午後の部（13：30 開始）に出演予定です。保護者の方もご鑑賞いただけます。演目は、25日の本校音楽会で演奏予定の3曲のうち2曲です。詳細は、配布済み（10/2 付）の案内をご確認ください。（当日児童は、市民会館まで歩きます。衣装に加え、気温を考慮した服装にしてください。）

## ♪ 音楽科より

「音楽会の衣装に関するお願い」のお手紙を全学年に配布しました。  
ご覧の上ご準備をお願いいたします。

## さくら学級より

### 音楽会

富士見丘小学校の「音楽会」が、11月24日（金）・25日（土）に行われます。保護者の皆様の鑑賞日は25日（土）になります。運動会に引き続き、音楽会でもさくら学級は学級単独で演目を構成しました。運動会の取り組みを経て、ますます学級一体の雰囲気醸成されています。音楽会の取り組みを通して、子供たちのより一層の成長の機会にしていまいます。ご協力をいただくことが多数あるかと思いますがよろしくお願いいたします。

### さくら学級 個人面談について

今年度最後の定期面談になります。これまでの指導の報告、次年度の方針など共有できたらと思います。日程等は後日担任からご連絡いたします。

### さくら学級担任交流授業について

10月30日より、各学級の担任が他の学級で教科の学習を指導しています。一人でも多くの教員が指導にあたることで、児童の情報を共有し、より良い指導を目指していくために行っています。普段と違う先生の授業を受け、子どもたちもいつもと違う新鮮な雰囲気の中で授業を受ける様子が見られました。